2002年1月 題 初が付く物

健康と平和を祈る 初日の出

作／吉原 犀水

［吉原 犀水 さん］
新世紀２年目は穏やかな初日の出でした。新しい年こそ人々が安心して暮らせるよう、心身の健康と恒久の平和を願い、詠みました。

［西沢まもるの一言］
ことしの初日の出・初詣では、だれもが「平和」をお願いしたことでしょう。それと健康ですね。まずは厳かにスタートといきますか。

2002年4月 題 桜

桜咲く 心にゆとり あればこそ

作／山口 文子

［山口 文子 さん］
桜の咲く季節。今までは何かとせわしなく、ゆっくりと見たことがなかったのですが、最近になってやっと落ち着いて見られるようになりました。

［西沢まもるの一言］
私事ですが、５年前に心筋梗塞を患いました。命びろいして桜を見に行きました。満開の桜の下で、嬉しさがこみ上げてきました。生きていてよかった…と。

2002年5月 題 新茶

元気かと 愛の香りの 新茶かな

作／宮前 一枝

［宮前 一枝 さん］
毎年母の日前後に、茶所に住んでいる長男がメッセージと共に新茶を送って来ます。最近はＥメールが多いのですが、声を聞きたいのが親心です。

［西沢まもるの一言］
毎年、息子さんが送ってくれる新茶。待ちかねた新茶。これは美味しいに決まっていますね。うらやましいーッ！

2002年2月 題 雪

父子して はじゃいで作る 雪だるま

作／林 みさ子

［林 みさ子 さん］
もう大きくなりましたが、子供たちがまだ小さい頃、親子４人で雪だるまを作ったことが。その時の写真を見て、思い出しながら詠んでみました。

［西沢まもるの一言］
お父さんが休みの日に大雪だったら、ヤッターですね。

2002年6月 題 花嫁

婆ちゃんも 花嫁だったと 孫知らず

作／柳清

［柳清さん］
昨年我が家に孫が誕生。「バアちゃんだよ」と話し掛ける私も最初からバアちゃんの筈がなく、孫が分かるようになったら、若かりし頃の写真を見せます。

［西沢まもるの一言］
じいちゃんもばあちゃんも、赤ちゃんだったんだもんね。その時代に戻れる魔法って、ないものでしょうか。

2002年3月 題 受験

ライバルの 窓の明かりが 気にかかる

作／内山 克子

［内山 克子 さん］
寝ようと思い、ふと窓の外を見ると隣の窓にまだ明かりが。昔、受験生だった頃、ライバルが気にかかって勉強したものです。

［西沢まもるの一言］
「受験戦争」にムリヤリ狩り出される子供たち。なんとかならないものか。

2002年10月 題 新聞

配達に ポチが先行く 村外れ

作／北山 重男

［北山 重男 さん］
新聞配達という言葉から、雨の日も風の日も、仲良くポチと一緒に配達する姿が浮かびます。頭の体操のつもりで投句。まもる賞は光栄です。

［西沢まもるの一言］
北山さんの句。すぐにさわやかな朝の空気のなかを走り抜ける、犬と少年を想い浮かべます。でも、それをうまく絵に描けないもどかしさ…。

2002年7月 題 夏

ちょうど来た 猫を相手に 夕涼み

作／小山田 満子

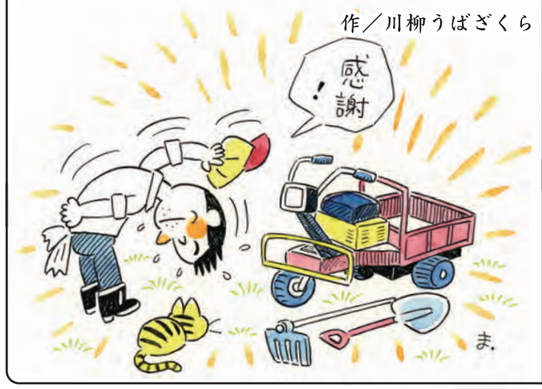
［小山田 満子 さん］
暑い日が続き、涼を求めて庭木に水やりに。すると猫もどこからかやって来て「お前も涼みに来たのかい」と、話しかけた思い出を詠みました。

［西沢まもるの一言］
猫がいる場所って涼しいですよね。犬みたいに暑がらないのも不思議です。

2002年11月 題 勤労感謝

農機具に 最敬礼する 感謝の日

作／川柳うばざくら



［川柳うばざくら さん］
投句のハガキに、住所・氏名が書かれていなかったので、川柳うばざくらさんのコメントは伺えませんでした。

［西沢まもるの一言］
時々、人間さまに逆らうこともあるけど、キカイは力強い味方ですね。みんなに感謝、機械にも感謝しちゃう。

2002年8月 題 花火

蚊に刺され 足で足掻き 花火見る

作／うさぎ

［うさぎ さん］
こどもが蚊に刺されながらも、夢中で花火をしている。そんな、家の前での花火遊びの一コマを詠みました。

［西沢まもるの一言］
夏の花火見物の大敵は「蚊」。足で足を掻くのは、みなさん経験ずみでしょう。やたらとかゆいんですよね。

2002年12月 題 12月

お年玉 今から頭痛の 種となり

作／宇田 半茶坊

［宇田 半茶坊 さん］
世は不景気。年金暮しの身にはお年玉も今から頭の痛い話です。千葉から来る孫たちは毎年値上げを要求。まあ、楽しみでもあるんですが（笑い）。

［西沢まもるの一言］
失業中の人、老後の年金暮しの人…。お年玉をもらいたいのはこっちだァ、と言いたくなりますね。早く春になれェ！

2002年9月 題 彼岸

三世代 遠足気分で 墓参り

作／内山 克子

［内山 克子 さん］
宗教的イメージがあった墓参りも今は違い、三世代が遠足のように墓参りしている光景をたまたま見て、とても微笑ましく思えました。

［西沢まもるの一言］
たしかにお彼岸の墓参りって、楽しさがありますよね。私の場合、お墓参りをするとスッと気持ちが軽くなり、落ちつきを取り戻します。